

お宝のタイムカプセル

— 神社に眠る都城の歴史 —

都城にある神社の中には、時代の変化や影響を受けつつも、古文書や神像などの貴重な史料を伝えた神社があります。現代の私たちにとって、それらの神社は、タイムカプセルのような役割を果たすことになりました。

今回の企画展では、市内の神社に残された史料を展示するとともに、そこから読み取れる都城の歴史について紹介します。

◎問い合わせ 文化財課 ☎23-9547



はしりゆ 走湯神社関係資料より堂領文書写と小箱 (市指定文化財／走湯神社所蔵)

4つのテーマに分けて紹介します。

◎権力者とのつながり

都城の神社の中には、時々の権力者から崇敬を集めた神社がありました。それらのつながりが読み取れる史料を展示します。

〔主な展示史料〕興玉神社王面（興玉神社所蔵）／東霧島神社文書（東霧島神社所蔵）

◎高い技術の結晶

社殿建築や絵画など、特有の文化財が生み出されてきた神社。これらは祭神への祈りが込められたものであるとともに、当時の高水準の技術が使われているものが多く、まさに「お宝」ともいえるものです。美術品として、また、都城の歴史を知る



朱塗丸盆 (県指定文化財／諏訪神社所蔵)

ための手掛かりとなる貴重な史料を展示します。

〔主な展示史料〕千足神社神像群（千足神社所蔵）

◎修理され受け継がれる「お宝」

文化財の中には、修理をしたり、作り直したりすることで残されてきたものがあります。ここでは、人の手を加えながら、神社を通じて現代まで残った「お宝」を展示します。

〔主な展示史料〕山田神社の掛軸（山田神社所蔵）／堂領文書写と小箱（走湯神社所蔵）

木造男神坐像 (県指定文化財／千足神社所蔵)



◎乗り越えた宗教政策の危機

明治時代に国家の宗教政策によって神社は統廃合され、また、廃仏毀釈の影響を受けて多くの寺院が破壊されました。多くの文化財が失われた一方、神社を通じて残った文化財もありました。苦難の時代の様子を伝える史料を展示します。

〔主な展示史料〕正応寺関係資料／興玉神社内神殿棟木（興玉神社所蔵）

企画展概要

◎会期

12月12日(日)まで

※月曜日は休館

◎開館時間 9時30分～17時

◎入館料

大人220円(160円)

高校生160円(110円)

小・中学生110円(50円)

※()は20人以上の団体料金。

11月3日(水)は入館無料